

注意 本手順書でアップデート作業を行う場合には、以下の部材が必要になります。
 (1) FW/ドライバ アップデート手順書(本書) (2) FW アップデートディスク(FD) (3) MegaRAID® NT4.0 RAID Driver (FD)
 (1) (3)と(4)は使用している OS に合わせてどちらか一方を使用してください。 (2) フォーマット済み FD 媒体が無い場合は、代わりに(3)と(4)のうち使用しないドライバ FD を使用しても構いません。
また、作業を行う場合は、はじめに本手順書をご覧になってください。
CLUTERPRO をご使用の場合は、Windows 2003 へのアップグレード前に CLUSTERPRO の アンインストールが必要となります。詳しくは、Windows 2003 対応の CLUSTERPRO のマ ニュアルをご参照ください。

(備考)

Microsoft とそのロゴ 及び WindowsNT、MS、MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の米国 及び その他の国における登録商標です。

 Power Console Plus (PCP)は、米国 LSI Logic Corporation の商標です。

 記載の会社名 及び 商品名は各社の商標または登録商標です。

1. はじめに	
2. 対象製品1	
3. 適用レビジョン	
4. レビジョンの確認	
4-1. BIOS/FW レビジョンの確認 ······2	
4-1-1. POST 画面上での確認 ·······2	
4-1-2. Power Console Plus での確認	
4-2.ドライバのレビジョン確認4	
4-2-1.Windows NT4.0 ドライバのレビジョン確認4	
4-2-1.Windows 2000 ドライバのレビジョン確認	
5. 事前作業	
5-1. データバックアップ	
5-2. コンフィグレーション情報のバックアップ6	
5-2-1. EXPERESSBUILDER(Ver.2.063c-N 以降)を使用したバックアップ······ののののののののののののののののののののののののののののののの	
5-2-2. コンフィグレーション情報バックアップ FD RAIDUTL(DOS)を使用したバックアップ	
5-2-2-1. コンフィグレーション情報バックアップ起動 FD の作成7	
5-2-2-1. バックアップ手順8	
6. BIOS/FW アップデート10)
6-1. FW アップデートディスクへの MS-DOS 転送)
6-1-1. EXPRESSBUILDER に「各種 BIOS/FW のアップデート」項目が有る場合 10)
6-1-2. EXPRESSBUILDER に「各種 BIOS/FW のアップデート」項目が無い場合 11	
6-2. BIOS/FW アップデート13	3
7. ドライバのアップデート	ŀ
7-1. Windows NT4.0 のドライバのアップデート手順14	ŀ
7-2. Windows 2000 のドライバのアップデート手順	;
8. 本ディスクアレイコントローラのご使用にあたって	;
8-1. コンシステンシチェック(整合性チェック)のスケジュール運転の推奨 16	;
8-1-1. コンシステンシチェックの効果16	;
8-1-2. コンシステンシチェックのスケジュール運転の設定方法	;
8-2. Service Pack 適用について	;
9. コンフィグレーション情報のリストア(参考)	,
9-1. EXPERESSBUILDER(Ver.2.063c-N 以降)を使用したリストア	,
9-2. コンフィグレーション情報バックアップ FD RAIDUTL(DOS)を使用したリストア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3

<u> 改版履歴</u>

Rev.	作成/改版日	改版内容
1	2003.10.14	初版
2	2003.10.15	第二版 EXPRESSBUILDER Ver 訂正

1.はじめに

本手順書では、SE 殿および保守員殿が Express5800 / 100 シリ - ズ ディスクアレイコントロ - ラの関 連モジュ - ルの置換を実施するための手順を記載しています。

2.対象製品

本手順書によりアップデート対象となる装置 N コード、品名、BIOS/FW レビジョン,ドライバレビジョンは以下の通りです。

装置Nコード 品名	:N8103-64 ディスクアレイコントローラ(A)
BIOS / FW レビジョン	: 3.11 / NEC4
ドライバ レビジョン	: NEC5.24 (Windows 2000) / 4.05 (Windows NT4.0)

レビジョンの確認方法については、「4.レビジョンの確認」を参照してください

3.適用レビジョン

本手順書で適用する BIOS/FW レビジョンおよびドライバレビジョンは、以下の通りです。

BIOS / FW レビジョン	: 3.14 / NET6
ドライバ レビジョン	: 5.37 (Windows 2000) / 4.10 (Windows NT4.0)

4. レビジョンの確認

BIOS/FW レビジョン、ドライバレビジョンは以下の方法で確認することができます。

4-1. BIOS/FW のレビジョン確認

4-1-1. POST 画面上での確認

- (1) 基本装置を起動します。
- (2) POST 画面に以下のメッセージが表示されたところで、BIOS/FW レビジョンを確認してください。

【アップデート前】

BIOS Revision FW Revision AMI Mes AID 40-LD BIOS Ver 3.11 MMM DD,YYYY Copyright(c) MERICAN MEGATREDNS INC. HA-x(Bus x Dev x) Series 471 40 Logical Drive Firmware Standard FW **NEC4** DRAM=128MB(SDRAM) Battery module is present on adapter x Logical Drives found on the Host Adapter. x Logical Drive(s) handled by BIOS Press <Ctrl><M> to Run MegaRAID Configuration Utility or Press <Ctrl><H> for WebBIOS

【アップデート後】



4-1-2. Power Console Plus での確認

- (1) Power Console Plus (コンフィグレーション/管理ユーティリティ)を起動します。
- (2) Power Console Plus の「Adapter」メニューから「Properties」を選択します。
- (3)以下の画面が表示されるので、BIOS/FW レビジョンを確認してください。

Adapter Properties			<u>×</u>
		Logical drive properties :	
Firmware Version :	NEC4	Number Of Logical Drives: 1.	
BIOS Version :	3.11	Logical Drive 1	
Rebuild Rate :	30	State : Optimal RAID TYPE : 5	
Cache Size :	128 MB	Read Policy : Write Dack Read Policy : Normal Cache Policy : Direct 1/0	
SCSI Transfer Rate :	160M	Stripe Size : 64K Bytes No. of Stripes : 4	
Fast Initialization :	Enable	Size : 52026MB Component Physical Drives :	
			¥
		<u>OK</u>	
		- () *	

- 【アップデート前】 Firmware Version: NEC4 <u>BIOS Version : 3.11</u>
- 【アップデート後】

Firmware Version	:	NET6
BIOS Version	:	3.14

4-2. ドライバのレビジョン確認

4-2-1. Windows NT4.0 ドライバのレビジョン確認

- (1) Windows NT4.0 を起動します。
- (2) 「スタート」 「プログラム」 「Windows NT エクスプローラ」を起動します。
- (3) システムドライブの¥WINNT¥SYSTEM32¥Drivers 配下の「mraid35x.sys」ファイルを選択し、
 右クリックメニューより「プロパティ」を選択します。
- (4) プロパティの「バージョン情報」タブを選択し、ファイルバージョンを確認します。

Mraid35x.sysのプロパティ ? × 全般 バージョン情報 ファイル バージョン: 4.05	【アップデート前】 <u>ファイル バージョン : 4.05</u>
説明 MEGARAID SOSI Controller Driver 著作権: Copyright © American MegaTrends Inc. 詳細 項目: 情報: 今社名 正式ファイル名 製品パージョン 製品名 内部名 OK キャンセル 適用(例)	【アップデート後】 <u>ファイル パージョン : 4.10</u>

1 待 そ エクスプローラ上で「*.sys」ファイルが表示されない場合は、エクスプローラの「ツール」 メニューから「フォルダオプション」を起動し、「表示」 - 「表示されないファイル」の設定 を「すべてのファイルを表示する」か「隠しファイルを表示しない」に設定してください。

4-2-2. Windows 2000 ドライバのレビジョン確認

- (1) Windows 2000 を起動し、管理者権限のあるユーザ (administrator) でログインします。
- (2)「スタート」 「プログラム」 「管理ツール」 「コンピュータの管理」を起動し、「デバイ スマネージャ」を選択します。
- (3) ウィンドウの右側に表示される「SCSIと RAID コントローラ」を選択した際に表示される以下のコントローラをダブルクリックし、「プロパティ」を表示させます。 アレイコントローラが複数枚実装されている場合、以下のコントローラも実装枚数分表示されますので、すべてのアレイコントローラに対して以降の手順を実施してください。

AMI MegaRAID Enterprise1600 RAID Controller

ドライバのバージョンによっては、「LSI Logic MegaRAID Enterprise1600 RAID Controller」と表示されます。

- (4) プロパティが表示されたら「ドライバ」タブを選択します。
- (5)「ドライバの詳細」をクリックし、ファイルバージョンを確認します。

:¥WINNT¥Syster	n32¥DRIVERS¥mraid2k.svs	
のバイガ・	American Megatrands Inc	
112 11 2	Hiterican Megatrends IIC.	
マイルバージョンク	NEC 5.24	
マイル バージョン: 著作権:	NEC 5.24 Copyright © American Megatrends Inc.	

【アップデート前】 <u>ファイル バージョン</u>	: NEC5.24
【アップデート後】 <u>ファイル バージョン</u>	: 5.37

- また、次のファイルのバージョンも確認してください。
- (6)「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」 「エクスプローラ」を起動します。
- (7) システムドライブの¥WINNT¥SYSTEM32¥Drivers 配下の「mraid2k.sys」を選択し、右クリッ クメニューより「プロパティ」を選択します。
- (8) プロパティの「バージョン情報」タブを選択し、「製品バージョン」を確認します。

aid2K.sys()フロバテ 全般 バージョン情	<u>・</u> 戦 サキュリティ 概要		
ファイル バージョン: 説明: 著作権:	5.0.2195.1 MegaRAID RAID Controller Driver for Windows 200 Copyright © American Megatrends Inc.	【アップデート前】 <u>製品 パージョン</u> :	NEC5.24
項目: 項目: 会社名 言語: 正式ファイル名 製品名 内部名	/it: NEC 5.24 ▲	【アップデート後】 <u>製品 バージョン :</u>	5.37

5. 事前作業

アップデートを実施する前に、以下の事前作業(データバックアップ、コンフィグレーション情報の バックアップ)を必ず実施してください。

注意 ディスクアレイが縮退状態(HDD1 台 FAIL 状態 / Degrade 状態)の場合は、本作業に入る前 に必ず Rebuild を実行して、縮退状態を解除してから本作業を実施してください。

5-1. データバックアップ

アップデート作業を実施する前に、ハードディスクに保存されているデータは必ずバックアップし ておいてください。

5-2. コンフィグレ-ション情報のバックアップ

1 描 考
EXPRESSBUILDER のバージョンが 2.063c-N 以降
の場合は、5-2-1 項の手順に従って
バックアップ作業を行ってください。
EXPRESSBUILDER のバージョンが 2.063c-N より前
の場合は、5-2-2 項の手順に従っ
てバックアップ作業を行ってください。

5-2-1. EXPERESSBUILDER (Ver.2.063c-N以降)を使用したバックアップ

基本装置添付の EXPERESSBUILDER(Ver.2.063c-N 以降) 準備するもの コンフィク・レーション情報パックアップ FD RAIDUTL(DOS)

- (1) EXPRESSBUILDER を起動します。
- (2) EXPRESSBUILDER 起動画面(トップメニュー)から「ツール」を選択します。
- (3)「コンフィグレーション(RAID)情報のセーブ/リストア」を選択します。
- (4)「コンフィグレーション(RAID)情報のセーブ」を選択します。
- (5)「コンフィグレーション(RAID)情報用の FD を挿入してください」というメッセージが表示 されたら、コンフィグレーション情報バックアップFD を挿入し < Enter > キーを押します。コンフィグレーシ ョン情報のセーブが開始します。



(6)「MegaRAID ホストアダプタ1のバックアップは正常終了しました。」というメッセージが表示 され、コンフィグレーション(RAID)情報のセーブ/リストアメニューに戻ったら、コンフィ グレーション情報のバックアップ作業は完了です。

5-2-2. コンフィグレーション情報バックアップFD RAIDUTL(DOS)を使用したパックアップ

5-2-2-1. コンフィグレーション情報バックアップ起動 FD の作成

準備するもの	基本装置添付の EXPERESSBUILDER コンフィグレーション情報バックアップ FD RAIDUTL(DOS) フォーマット済み FD 媒体 1枚
--------	------------------------------------------------------------------------------------

備考

フォーマット済み FD 媒体が無い場合は、「MegaRAID® NT4.0 RAID Driver FD」と「MegaRAID® Windows 2000 RAID Driver FD」のドライバ FD のうち、ユーザで使用している OS ではない方のドライバ FD を使用しても構いません。ただし、本項の作業により元々入って いたファイルは全て削除されてしまいますので、十分注意してください。

- (1) EXPRESSBUILDER を起動します。
- (2) EXPRESSBUILDER 起動画面(トップメニュー)から「ツール」 「サポートディスクの作成」「MS-DOS 起動ディスク」を選択します。
- (3) フォーマット済み FD 媒体を FD ドライブに挿入し、「継続」を選択すると、MS-DOS 起動ディ スクの作成が開始されます。
- (4) 「フロッピィディスクを抜いてください。」というメッセージが表示されたら、MS-DOS 起動 ディスクを抜き取り、「終了(あるいは 確認)」を押します。
- (5) EXPRESSBUILDER を終了して基本装置を再起動します。再起動中 EXPRESSBUILDER を抜 き取り、再度 MS-DOS 起動ディスクを FD ドライブに挿入します。
- (6) MS-DOS 起動後、MS-DOS 起動ディスクを抜き取り、コンフィグレーション情報バックアップFD を挿入し、 「a.bat」と入力します。



(7) 「MS-DOS 起動ディスクに入れ替えてください。」というメッセージが表示されたら、MS-DOS 起動ディスクに交換し、何かキーを押します。



- (8) 「新しいディスクをドライブA:に入れて下さい。」というメッセージが表示されたら、コンフィグ レーション情報バックアップFDに交換し、 < Enter > キーを押します。
- (9)「ボリュームラベルを入力してください。」というメッセージが表示されたら、必要に応じてボ リュームラベルを入力してください。必要なければ < Enter > キーを押します。

- (10)「別のディスクをフォーマットしますか(Y/N)?」というメッセージが表示されたら、「N」 を入力し < Enter > キーを押します。
- (11)「RAIDUTL 起動に必要なファイルのコピーが終了しました。」というメッセージが表示された ら、何かキーを押し基本装置を再起動します。再起動時、コンフィグレーション情報バックアップFD は抜か ないでください。
- (12) 基本装置の再起動後、MS-DOS が起動します。

5-2-2-2. バックアップ手順

準備するもの	コンフィグレーション情報バックアップFD RAIDUTL(DOS) (5-2-2-1 項で MS-DOS 転送を行ったもの)	
	注意	
本作業を行う	本作業を行うためには、フロッピィディスクの空き容量が 250KB 以上必要です。空き	
容量がない場	合は、空き容量を増やしてから実施してください。	
コンフィク゛レーション情	「報バックアップFD のライトプロテクトが解除されていることを確認してく	
ださい。		
(1) DOS のコマン	ドラインから以下を入力します。	
A:¥> RAID	UTL < Enter >	

(2) ディスクアレイコントローラのスキャンが開始され、しばらくするとディスクアレイコントロ ーラの選択メニューが表示されます(画面は、N8103-64 を 1 枚実装している環境の例です)。

Select Adapter No. 0. Adapter-0 (Bus = xx, Dev = xx) 99. Quit.

Input Adapter No. : ____

(3) 処理するディスクアレイコントローラの番号を入力し、 < Enter > キーを押します。オプションの選択画面が表示されます。

Adapter-0(Bus = xx, Dev=xx) FwVer: xxx BiosVer: x.xx AdapterType: Series 471 40 Logical Drive Firmware Select option

Backup Configuration
 Restore Configuration
 Return to Adapter Selection Menu

Input Option No. : ____

(4) 「0」を入力し、 < Enter > キーを押します。ファイル名の入力画面が表示されます。

Backup Configuratio	n
Enter File Name	:

(5) コンフィグレーション情報バックアップファイルのファイル名(任意)を入力します。ファイル名は、8.3 形式で入力してください。ファイル名入力後、 < Enter > キーを押すとコンフィグレーション情報のバックアップを開始します(本入力画面を終了させる場合は、 < ESC > キーを押してください)。





(6) DOS プロンプトに戻ったら、バックアップは終了です。正常にバックアップファイルが作成されたことを確認するために、コマンドラインから「dir < Enter > 」を入力し(5)で入力したファイルのファイルサイズをチェックします。

【正常時のパックアップファイルのサイズ】 ディスクアレイコントローラ 1 枚あたり : 25,416 bytes

(7) 以上でコンフィグレーション情報のバックアップ作業は終了です。

6.BIOS/FWアップデート

ここでは EXPRESSBUILDER から FW アップデートディスクへの MS-DOS 転送 及び BIOS/FW のアッ プデート手順について説明します。ただし、MS-DOS 転送の手順は、EXPRESSBUILDER のツールメニ ューの「各種 BIOS/FW のアップデート」項目の有無で異なります。

6-1.FW アップデートディスクへの MS-DOS 転送



準備するもの FW アップデートディスク

- (1) EXPRESSBUILDER を起動します。
- (2) EXPRESSBUILDER 起動画面(トップメニュー)から「ツール」を選択します。
- (3) 「各種 BIOS/FW のアップデート」を選択します。
- (4) 「アップデートモジュールを格納したフロッピーディスクをドライブに挿入してください。」というメッセージが表示されたら、FW アップデートディスクを FD ドライブに挿入し「継続」を選択します。

注意

FW アップデートディスクのライトプロテクトが解除されていることを確認してください。

- (5) 「アップデートに必要なファイルを CD-ROM からフロッピーディスクに追加コピーします。」というメッセージが表示されたら「継続」を選択します。
- (6) 「CD-ROM を抜いてください。……自動的に自動的にリブートしフロッピーディスクからアッ プデートを開始します。」というメッセージが表示されたら、フロッピーディスクを FD ドライ ブに挿入した状態のまま EXPRESSBUILDER を CD-ROM ドライブから取り出し「継続」を選択 します。



(7) 基本装置の再起動後、自動的に BIOS/FW アップデートが実施されます。

6-1-2. EXPRESSBUILDER に「各種 BIOS/FW のアップデート」項目が無い場合

準備するもの

基本装置添付の EXPERESSBUILDER FW アップデートディスク フォーマット済み FD 媒体 1 枚

備考

フォーマット済み FD 媒体が無い場合は、「MegaRAID® NT4.0 RAID Driver FD」と 「MegaRAID® Windows 2000 RAID Driver FD」のドライバ FD のうち、ユーザで使用 している OS ではない方の FD を使用しても構いません。ただし、本項の作業により元々 入っていたファイルは全て削除されてしまいますので、十分注意してください。

「5-2-2-1. コンフィグレーション情報バックアップ起動 FD の作成」の作業により、すでに MS-DOS 起動ディスクを作成している場合は、以下の(1)~(5)の作業は省略できますので、基本 装置を MS-DOS 起動ディスクから起動した後、(6)から作業を進めてください。

- (1) EXPRESSBUILDER を起動します。
- (2) EXPRESSBUILDER 起動画面(トップメニュー)から「ツール」 「サポートディスクの作成」「MS-DOS 起動ディスク」を選択します。
- (3) フォーマット済み FD 媒体を FD ドライブに挿入し、「継続」を選択すると、 MS-DOS 起動ディ スクの作成が開始されます。
- (4) 「フロッピィディスクを抜いてください。」というメッセージが表示されたら、MS-DOS 起動ディスクを抜き取り、「終了(あるいは 確認)」を押します。
- (5) EXPRESSBUILDER を終了して基本装置を再起動します。再起動中 EXPRESSBUILDER は抜き 取り、再度、MS-DOS 起動ディスクを FD ドライブに挿入します。
- (6) MS-DOS 起動後、MS-DOS 起動ディスクを抜き取り、FW アップデートディスクを挿入し、「a.bat」と入力します。



(7) 「MS-DOS 起動ディスクに入れ替えてください。」というメッセージが表示されたら、MS-DOS 起動ディスクに交換し、何かキーを押します。



- (8) 「新しいディスクをドライブ A:に入れて下さい。」というメッセージが表示されたら、FW ア ップデートディスクに交換し、 < Enter > キーを押します。
- (9)「ボリュームラベルを入力してください。」というメッセージが表示されたら、必要に応じてボ
 リュームラベルを入力してください。必要なければ < Enter > キーを押します。
- (10)「別のディスクをフォーマットしますか(Y/N)?」というメッセージが表示されたら、「N」を 入力し、 < Enter > キーを押します。
- (11)「BIOS/FW アップデートに必要なファイルのコピーが終了しました。」というメッセージが表示 されたら、何かキーを押し、基本装置を再起動します。再起動時、FW アップデートディスクは 抜かないでください。
- (12) 基本装置の再起動後、自動的に BIOS/FW アップデートが実施されます。

6-2.BIOS/FW アップデート

準備するもの

FW アップデートディスク (6.1 項で MらDOS 転送を行ったもの)

注意 「6.1 FW アップデートディスクへの MS-DOS 転送」に従い、FW アップデートディスク に MS-DOS をコピーしましたか? アップデート中は絶対に基本装置の電源を OFF にしないでください。

- (1) FW アップデートディスクが FD ドライブに挿入されていることを確認してください。
- (2) 基本装置を再起動すると、自動的に BIOS/FW アップデートが実施されます。対象のディスクア レイコントローラが複数枚実装されている場合、すべてのコントローラに対してアップデートが 実施されます。





(3) BIOS/FWのアップデートが正常終了すると以下のメッセージが表示されます。

Firmware Programmed Successfully. Flash Programming Done.

- (4) FW アップデートディスクを FD ドライブから抜き取り、基本装置を再起動します。
- (5) 「4-1.BIOS/FW のレビジョン確認」に従い、アップデート後の BIOS/FW レビジョンが以下の レビジョンにアップデートされていることを確認してください。

BIOS レビジョン	: 3.14
FW レビジョン	: NET6

<u>7. ドライバのアップデート</u>

ここではドライバのアップデート手順について説明します。OS によって、使用するアップデート媒体 が異なります。

7-1.Windows NT4.0 のドライバのアップデート手順

準備するもの	MegaRAID [®] NT4.0 RAID Driver	
--------	-----------------------------------------	--

- (1) 基本装置の電源を入れ、OS を起動します。
- (2) FD ドライブに「MegaRAID[®] NT4.0 RAID Driver」と印刷されたフロッピーディスクをセットします。
- (3) エクスプローラなどからフロッピーディスク内の UPDATE.EXE を実行します。
- (4) 以下の画面が表示されますので「OK」をクリックしてください。

セットアッ:	プメッセージ ×
?	日本語版アップデート媒体でシステムをアップデートします。 アップデート作業を中断するなら、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。継続するなら、「OK】ボタンをクリックして ください。
	<u> </u>

(5) 以下の画面が表示されますので、ボタンをクリックして基本装置を再起動してください。

Windows NT :	ชงหัวงวี 🛛 🕅
Windows♪ の変更、ま	IT 4.0 のアップデートを終了しました。システム中のコンポーネント たは追加を行なったときは、システムへのアップデートの再適用
か必要で9 フロッビー れたシステ	り。 ディスクドライブからディスクを取り出してください。アップデートさ ニムを実行するには、「コンピュータの再起動」ボタンをクリックしてく
/28U%	
	コンビュータの再起動(<u>R</u>)

- (6) 以上でアップデートは完了です。
- (7) 「4-2.ドライバのレビジョン確認」に従い、アップデート後のドライバのレビジョンが以下のレ ビジョンにアップデートされていることを確認してください。

<u>Windows NT4.0 ドライバ レビジョン : 4.10</u>

7-2.Windows2000 のドライバのアップデート手順

準備するもの MegaRAID [®] Windows 2000 RAID Driver		準備するもの	MegaRAID [®] Windows 2000 RAID Driver
-------------------------------------------------------	--	--------	------------------------------------------------

- (1) 基本装置の電源を入れ、OS を起動します。
- (2) FD ドライブに「MegaRAID[®] Windows 2000 RAID Driver」と印刷されたフロッピーディスクを セットします。
- (3) エクスプローラなどからフロッピーディスク内の UPDATE.EXE を実行します。
- (4) 以下の画面が表示されますので「OK」をクリックしてください。

セットアップ	メッセージ ×1
?	日本語版アップデート媒体でシステムをアップデートします。 アップデート作業を中断するなら、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。 継続するなら、 [OK]ボタンをクリックしてください。
	「

(5) 以下の画面が表示されますので、ボタンをクリックして基本装置を再起動してください。

Windows 2000 セットアップ
Windows 2000 のアップデートを終了しました。システム中のコンボーネントの変更、 または追加を行なったときは、システムへのアップデートの再適用が必要です。 フロッピーディスクドライブからディスクを取り出してください。アップデートされたシステム を実行するには、ロンピュータの再起動1ボタンをクリックしてください。
レビュータの再起動(R)

- (6) 以上でアップデートは完了です。再起動後、さらに「新しいハードウェアが見つかりました。」 というダイアログボックスが表示される場合がありますが、自動的にドライバがインストールされるため、とくに作業は必要ありません。
- (7) 「4-2.ドライバのレビジョン確認」に従い、アップデート後のドライバのレビジョンが以下のレ ビジョンにアップデートされていることを確認してください。

<u>Windows 2000 ドライバ レビジョン : 5.37</u>

8. 本ディスクアレイコントローラのご使用にあたって

8-1. コンシステンシチェック(整合性チェック)のスケジュール運転の推奨

アレイシステムの安定稼働のために、スケジュール運転によるコンシステンシチェック(Consistency Check)の定期的な実施を強く推奨しております。週に1回、少なくとも月に1回は、コンシステンシチェックの実施をお願いします。

8-1-1. コンシステンシチェックの効果

アレイディスクに対して定期的にコンシステンシチェックを実施し、検出した不整合を修復する ことにより、物理ドライブ障害時(FAIL)のリビルド失敗を未然に防ぐことができます。また、 コンシステンシチェックは論理ドライブ(Logical Drive)に対して全面リードを行います。そのた め、物理ドライブ(ハードディスク)の普段あまりアクセスしないような部分にもアクセスを行 うことになるため、物理ドライブの後発不良によるバッドセクタ(リード/ライトでエラーする セクタ)の早期検出の役目も果たします。これらは、物理ドライブの複数台 FAIL の発生抑止に繋 がり、アレイシステムの安定した運用を保ちます。

8-1-2. コンシステンシチェックのスケジュール運転の設定方法

コンシステンシチェックのスケジュール運転に必要なモジュールは、Power Console Plus のイン ストールと同時にインストールされます。設定方法については、アレイコントローラに添付され ている「N8103-64 ユーザーズガイド(取扱説明書)」あるいは「Power Console Plus ユーザーズ マニュアル」に記載されています。

8-2. Service Pack 適用について

システムの安定稼働のために、オペレーションシステム(OS)の Service Pack は最新のバージョン を適用することを推奨しております。

9.コンフィグレーション情報のリストア(参考)

アップデート作業によって、万一、コンフィグレーション情報が失われた場合にのみ、以下の手順に てコンフィグレーション情報のリストアを実施してください。通常の作業では必要ありません。

注意 コンフィグレーション情報を誤って異なるディスクアレイコントローラにリストアして しまうと障害の原因となります。 万一、誤ってリストアを実行してしまい、ハードディスクへのアクセスが不可となって しまった場合は、再度、正しいコンフィグレーション情報のリストアを実施し、予めバ ックアップしておいたハードディスクのデータを用いて修復してください。

9-1. EXPERESSBUILDER (Ver.2.063c-N以降)を使用したリストア

準備するもの

基本装置添付の EXPERESSBUILDER (Ver.2.063c-N以降) コンフィグ レーション情報パ ックアップ FD RAIDUTL (DOS)

- (1) EXPRESSBUILDER を起動します。
- (2) EXPRESSBUILDER 起動画面(トップメニュー)から「ツール」を選択します。
- (3)「コンフィグレーション(RAID)情報のセーブ/リストア」を選択します。
- (4) 「コンフィグレーション(RAID)情報のリストア」を選択します。
- (5) 「コンフィグレーション(RAID)情報用の FD を挿入してください」というメッセージが表示 されたら、コンフィグレーション情報バックアップFD を挿入し < Enter > キーを押します。
- (6)「RAID 構成情報をリストアしてよろしいですか?」というメッセージが表示されたら、「y」を 入力後、 < Enter > キーを押してコンフィグレーション情報のリストアを実行します。



(7)「RAID構成情報のリストアに成功しました」のメッセージが表示されましたら、コンフィグレーション情報のリストア作業は完了です。自動的に再起動しますので、各ユーティリティでコンフィグレーション情報を確認してください。

9-2. コンフィグレーション情報バックアップFD RAIDUTL (DOS)を使用したリストア

準備するもの

コンフィク・レーション情報バックアップ FD RAIDUTL (DOS) (5-2-2-1 項で MS-DOS 転送を行ったもの)

注主意 本作業を行うためには、フロッピィディスクの空き容量が250KB以上必要です。空 き容量がない場合は、空き容量を増やしてから実施してください。 コンフィグレーション情報バックアップFDのライトプロテクトが解除されていることを確認して ください。

(1) DOS のコマンドラインから以下を入力します。

A:¥ > RAIDUTL -nd < Enter >

(2) ディスクアレイコントローラのスキャンが開始され、しばらくするとディスクアレイコントロ ーラの選択メニューが表示されます(画面は、N8103-64 を 1 枚実装している環境の例です)。

Select Adapter No. 0. Adapter-0 (Bus = xx, Dev = xx) 99. Quit. Input Adapter No. : ____

(3) 処理するディスクアレイコントローラの番号を入力し、 < Enter > キーを押します。オプションの選択画面が表示されます。

Adapter-0(Bus = xx, Dev=xx) FwVer: xxx BiosVer: x.xx AdapterType: Series 471 40 Logical Drive Firmware

Select option

- 0. Backup Configuration
- 1. Restore Configuration
- 99. Return to Adapter Selection Menu

Input Option No. : ____

(4)「1」を入力し、 < Enter > キーを押します。ファイル名の入力画面が表示されます。

Restore Configuration

Enter File Name : _____

(5) コンフィグレーション情報バックアップファイルのファイル名を入力します。ファイル名は、 8.3 形式で入力してください。ファイル名入力後、 < Enter > キーを押すとコンフィグレーション情報のリストアを開始します(本入力画面を終了させる場合は、 < ESC > キーを押してください)。

_ _ _

Restore Configuration

Enter File Name : RAID#1.CFG___

Firmware in Adapter 0 supports SPAN=8 AND 40-Logical Drives ConfigData of File RAID#1.CFG is SPAN8_40LD

ConfigData of File RAID#1.CFG is SPAN8_40Ld

New configuration written to the MegaRAID Adapter 0

注意 コンフィグレーション情報のリストア中は FD を抜かないでください。

- (6) 画面上に「New configuration written to the MegaRAID Adapter x"(x:ディスクアレイコントロー ラ番号)」のメッセージが表示されている事を確認してください。
- (7) 以上でコンフィグレーション情報のリストア作業は終了です。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を、無断で他に転載することは禁止されています。(2)本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番地1号 TEL (03)3454-1111 (大代表) ©NEC Corporation 2003 日本電気株式会社の許可なく複製、 改変などを行うことはできません。